



2021年 エシカル協会活動報告書



【団体概要】

名称：一般社団法人エシカル協会

英名称：Ethical Association

代表理事：末吉里花

理事：森敏、竹地由佳、溝口量久、秋野美穂、羽生田慶介、大久保明日奈

事務局次長：堀田三佳

事務局：鈴木志保

監事：市瀬豊和

税理士：眞鍋伸吾（ひのわ税理士法人）

顧問：山本良一

相談役：枝廣淳子

Lead Future Designer：羽生田凜央

ミッション：

エシカルの本質について自ら考え、行動し、変化を起こす人々を育む。
そうした人々と共に、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている
持続可能な世界を実現する。

目次

1. ご挨拶	3
2. 2021年度活動の振り返り	8
2-1. 2021年度エシカル・コンシェルジュ講座	9
2-2. ソーラーシェアリング「THE 土と太陽の発電所～Soil & Sun～」	16
2-3. 講演・トークショー・メディア取材	18
2-4. 行政機関との連携	20
2-5. 書籍の出版	23
2-6. 法人会員制度	25

1. ご挨拶

<エシカル協会代表理事 末吉里花>

2021年、エシカル協会は創業6年目を迎えました。世界を襲った新型コロナウイルス、気候変動、そして大規模な軍事衝突……私たちは未だかつて経験したことの無い困難を迎えています。そのような中、なんとかここまで活動をしてこられたのも、日頃協会の活動を支えてくださる皆さまの存在があったからです。

私たちはつまづきながらも、希望ある新たな世界の実現に向けて必死に歩み始めています。よりよい社会をつくるため、また2030年に迫るSDGs達成のためにも、エシカルというものさしが必要不可欠です。エシカルという幸せのものさしを誰もが持つことができるように、私たちは2021年も走り続けてきました。そして、今までの活動の集大成として、日本で初めてとなる『エシカル白書2022-2023』を作り上げ、ようやく刊行間近となりました。これまでエシカルに全く触れてこなかった生活者・企業人から既に実践を重ねている有識者

まで、幅広い読者のニーズに応えることを目指しました。

制作過程で改めて、私たちの活動はまだまだ不十分であり、特にこれからの未来を担う若者たちにはあまり届いていない、ということを感じ知らされました。

今後はさらにギアをあげて、子どもから大人までエシカルについて「知る」機会を提供し、それぞれが社会との関わりを持ちながら問題を解決していくために行動主体となれるよう、働きかけていきます。

エシカルの旅は、時に厳しく、険しく、途方にくれることもありますが、皆さまと一緒にいれば、素晴らしい未来への旅路を歩んでいけると信じています。



<理事 森敏>

未だに終息の見えないコロナウイルス感染症の拡大と、目まぐるしく変化する世界各地の情勢や日々の国際ニュースに衝撃や不安を抱く日々が続いています。国際社会が団結し、一刻も早く平和的、人道的に解決されることを強く願います。

2021年度の活動をあらためて振り返ると今年は、エシカル協会にとって大きな変革の1年となりました。設立から6年目を迎え理事が7名となり、また2名の正社員の雇用など新たな組織体制を整える事ができました。そして、持続可能な世界の実現を目指した活動の1つとして、自らがその実践者となり社会により良い影響をもたらす事ができるよう、千葉県匝瑳市におけるソーラーシェアリング「THE 土と太陽の発電所～Soil&Sun～」をパートナーの皆様と共に開設する事ができました。

これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております。今後も、皆様方のご期待に添えるよう、精一杯努力してまいり所存でございます。今後とも末永くお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。



<理事 竹地由佳>

いつもエシカル協会の活動をご支援くださりまして心より感謝申し上げます。2021年、皆さまはどんな一年だったでしょうか。私は取材を通じて特に親子向けにエシカル消費を伝える機会に恵まれ、改めてエシカルの本質を考えさせられる一年になりました。私たちの毎日の暮らしの中で取り組める様々なアクションがある中で、自分は何のためにそれをやるのか、子ども達にどう伝えていくのかを考え続けています。答えは簡単に出ませんし、正解はありません。私たち協会にはエシカル・コンシェルジュや法人会員の皆さまをはじめ、心強い仲間が大勢いて、日々エシカルな実践をしてくださっています。同じように悩みながら試行錯誤を重ねている姿に、とても勇気づけられております。

2021年度も終わりに近づいた頃に始まったウクライナ危機。強い衝撃と憤りを感じています。クラスメイトにロシア人がいる5歳の長男から何が起きているかを聞かれ、言葉を慎重に選びながら説明が非常に難しいです。弊協会のミッションに「エシカルな暮らし方を幸せのものさしに」という言葉があります。子ども達のまっすぐな目に向き合い、「エシカル」や「幸せ」の意味をもう一度よく考えながら、活動を続けてまいります。



<理事 羽生田慶介>

平素エシカル協会を御支援くださりまして有難うございます。2021年はエシカルな社会づくりに向けて、残念ながら特別に「危機感が高まった」一年だったかもしれません。

2021年8月のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）では「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と初の断定。更なる温室効果ガス削減の必要性が説かれました。

人権問題も急速に危機感が高まりつつあります。同1月に誕生した米国バイデン政権は中国新疆ウイグル自治区での強制労働を強く問題視し、私たちは改めて隣国にある人権侵害に当事者意識を持つこととなりました。2月にはミャンマーの軍事クーデターで人命が失われ、企業の同国市場からの撤退なども続きました。7月の東京オリンピックは開催直前に演出家や音楽担当の作曲家に「容姿侮辱の演出」「過去のいじめ問題」などが批判され、これも人権問題に対する危機感にも繋がっています。

そして2022年になったいま、ウクライナでの悲惨な軍事衝突の報道に触れ続ける日々となってしまいました。

「危機感」だけで動くスタミナが持たないことは分かっています。それでも今だけは「危機感」を前面に出して活動することにしました。するとまた新しい同志が見つかり、エシカルの輪を更に強固にしてくれると確信しています。



<理事 大久保明日奈>

日頃からエシカル協会の活動をご支援いただきまして、感謝申し上げます。2021年も、多くの変化のあった一年であったかと思えます。引き続き新型コロナウイルスの影響もある中、社会の持続可能性について改めて問われた一年であったように感じます。

気候変動はまさに今取り組むべき課題であることがより明確になり、COP26において世界のコンセンサスは「1.5℃目標」に大きくシフトしました。また、「人権」課題についても大きく報道されることが増え、多くの人の中で意識される場面が多くなったと感じます。

また、直近ではロシアによるウクライナ侵攻により、人道的な側面はもちろん、エネルギーに関わる課題も顕在化しており、世界は繋がっていると今一度強く実感することとなりました。

協会としては、オンラインでのエシカルコンシェルジュ講座の開講、法人会員ミーティングの実施など、皆さまに支えられて継続的に活動を行ってきました。また、今春刊行となる『エシカル白書2022-2023』の執筆も大きな挑戦でした。多くの方に経済環境、社会に対するホリスティック（全体的、包括的）な視点をお伝えしたいと考え、社会課題の解説や国連統計データの読み解き、エシカル消費についてのアンケート分析を行いました。

また、海外先進事例やエシカルの各分野の第一人者の方々の幅広い知見を提供するものとなっています。

私たちの社会を取り巻く課題は未だ多くありますが、エシカルという新たなものさしを多くの方々と共有し、よりよい未来をつくる活動をこれからもご一緒いただけますと幸いです。



<事務局次長 堀田三佳>

2021年、昨年と変わらずコロナと共に歩んだ日々となりました。この一年においても、コロナ前よりも更に加速してエシカル普及につとめてこられたのも、皆さまのお力添えがあったからと、心より感謝申し上げます。

私は主にエシカル・コンシェルジュ講座の企画運営、エシカル消費の普及啓発の講演活動を中心に行っています。

エシカル・コンシェルジュ講座はオンラインに切り替えて2年半が過ぎようとしています。9期には、海外、地方からも含め600名弱の皆さまに受講いただきました。每期ごと受講者数が増えておりますが、同時に、エシカルの関心が高まっている現れであると実感しています。

今後もオンラインでのお届けを軸に、リアルとのハイブリットでさまざまな企画と共に、コンシェルジュたちが、学び続けられる仕組みを構築し、楽しく、そして気づきの多いコミュニティ作りに邁進してまいります。

私たち協会は、これからも「考える」機会を提供し続け、全国にいる仲間とともに、子どもたちの笑顔あふれる未来を創っていきたくと思います。



<事務局 鈴木志保>

「コロナ」と共にスタートした2020年、そして、2021年もコロナと共に歩む1年になりました。コロナ状況下で大きな壁として現れたのが“人との触れあいできなくなった・容易に移動ができなくなった”ことかと思えます。ただ、私たちはその要因をマイナスと捉えず、「よい機会」「よいチャンス」として、様々なチャレンジを行ってきました。例えば、「ETHICAL JOURNEY バーチャルツアー」。エシカルを実践されている場所・人を訪れる旅ですが、なんと海外のバリ島にエシカル・コンシェルジュ講座受講生の皆さんと訪れることが出来ました。きっと、「コロナ」という経験しなければオンラインを使い「人に会う為に、その場所を訪れる為に旅に出る」という企画を想像できなかったかと思えます。

エシカル・コンシェルジュ講座の講師の方々は、よく講義中「ピンチをチャンスに！」にという言葉をおっしゃっています。この言葉を胸に、どういう状況下でもよりよい社会へ変化していけるよう協会スタッフ一同、邁進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



2. 2021年活動の振り返り

2-1. 2021年度エシカル・コンシェルジュ講座

エシカル・コンシェルジュ講座

<講座概要>

気候危機、人権侵害、児童労働、貧困問題、生物多様性の損失など、あらゆる問題が深刻化する中、私たちは一体どうやってこの現状と向き合えば良いのだろうか、と不安になる人がいるかもしれません。実はエシカルな（倫理的な）考え方を学ぶことで、現実としっかりと向き合い、解決し、変化を起こす力を培うことができます。

エシカルの考え方の中には、フェアトレード、オーガニック、サステナビリティ、動物福祉、リサイクル、環境再生型農業、自然エネルギー、エシカル金融、SDGsなど様々な分野があり、講座を通じてそれぞれを学び、できることから暮らしの中で実践することで、世界が抱える課題を改善に導き、「いいあんばい」な世の中を築く力になれます。

エシカル・コンシェルジュは、小さなことでも行動に移す実践者のことを指します。

エシカル協会のミッションは、エシカルの本質について自ら考え、行動し、変化を起こす人々を育み、そうした人々と共に、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている持続可能な世界を実現することです。

どんな人も、学ぶというアクションをとることで、変化の担い手の一歩を踏み出すことができます。エシカルな暮らし方が幸せなものさしとなっている世界を作るための、学び繋がる機会を作る講座です。

*2021年開催分より、講座名を「〇〇年春、〇〇年秋」表記から「〇期」表記へ変更いたしました。

<2021年 9期：講師とテーマ>

- 第1回：【気候危機のリスクと社会の大転換】
江守正多氏（国立環境研究所 地球システム領域 副領域長 東京大学 客員教授）
- 第2回：【私たちの“意思表示”が未来を変える～エシカルの基礎～】
末吉里花（一般社団法人エシカル協会代表理事）
- 第3回：【サーキュラーエコノミー理論と実践 — オランダと上勝から探るこれからのローカルビジネス】
安居昭博氏（サーキュラーエコノミー研究家） &
大塚桃奈氏（徳島県上勝町ゼロウェイストセンター Chief Environmental Officer）
- 第4回：【生きづらさを抱える子どもたち～地域の中で多様な学びと育ちを考える～】
西野 博之氏（認定NPO法人フリースペースたまりば理事長）
- 第5回：【地球を分け合う動物たちに配慮する2つの方法】
岡田千尋氏(NPOアニマルライツセンター代表理事)
- 第6回：【自然エネルギーでつくる未来 その課題と私たちがすべきアクション】
長谷川雅也氏(自然電力株式会社 代表取締役)
- 第7回：【ゼロエミッションが変えるビジネスの在り方】
末吉竹二郎氏(UNEP金融イニシアチブ特別顧問)
- 第8回：【SDGsはゴールじゃない。目指すべきリジェネレティブな未来とは】
濱川 明日香氏(Earth Company 共同創設者、共同代表)
- 第9回：【「ずっと続く」ために必要なこと こども食堂の現場から】
湯浅誠氏(東京大学 先端科学技術研究センター特任教授・全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長)
- 第10回：【エシカルを大衆のアヘンにしないために】
斎藤幸平氏(経済思想家・大阪市立大学大学院経済学研究科准教授)
- 第11回：【エシカルを拓めるには？ ～社会を動かすメッセージの作り方～】
砥川直大氏(The Breakthrough Company GO クリエイティブ・ディレクター)



<受講者数(延べ人数)>

9期:一般539名 学生35名(うち学生応援企画、25名)

<受講生の感想(一部抜粋)>

- この全11回の講座を受けて今私がずっと関わってきている大好きなファッション業界を少しでも変えたいとより強く思うようになりました。
具体的に考えている事として、着なくなった洋服をまた着たくなるような洋服やその他のアイテムに変身させ息を吹き返していきたい。このアクションで少しでも捨てられる服や古着として発展途上国に過度に送られることが少なくなることを祈るばかりです。
- 一番変化が必要な企業のシステムについても変わって欲しい!この思いを伝え続ける、声を届け続けます。変わろうとしていない企業やグリーンウォッシュな企業は悲しいことにたくさんあることが今回勉強して分かりました。これらを少しずつでも実践していくことで各業界が変化してくれる事が私の一番の目標です。
- アパレル業界で30年間、ほんとうに楽しく夢中で仕事に打ち込んできましたが、エンカル消費、気候変動など学んでいくと、携わった仕事で絶対に壊してしまった環境があり、もしかしたら強制的に働かせてしまった子どもたちがいると知るととても暗い気持ちになりました。
- これからはよりよく仕事を引き継いでいく大切さや責任を感じながら、私たちが良い方向に向かえるよう残り少ない仕事人生を過ごします。
- この講座を受けるようになってから、ちょっとした買い物で袋をもらわなかったり、小さな携帯バッグや水筒をもっていたりすることが自然に増えました。子どもたち(大学生と高校生)にもSDGs、サステナビリティについての事例があると、どう思うか聞いたりすることも増えた気がします。
子どもたちから借りている地球のことについて「知ること」を意識して、仕事とは違った楽しみや興味が持てることを探せるようになったと思います。

<受講生の変化(一部抜粋)>

- 子ども食堂に食材を寄付した
- 動物由来の食品を減らした、平飼卵に変更
- 自宅と会社を再生可能エネルギーに変更
- 子供と一緒に自然と触れ合うことを増やした
- 会社にSDGs部を設立した
- ロスフラワーを使ったワークショップを開催
- 仕事仲間と勉強会を開催した

コロナ禍 学生応援企画

コロナ禍の終息が見えず、いまだ世界中の人たちにとって試練が続いている今、パンデミック以前の状態に戻ろうとするのではなく、希望ある新たな世界像に向けてみんなが歩み始めることだと思えます。その時にエシカルというキーワードはとても大切です。このようなタイミングだからこそ、経済的理由で学びをあきらめてしまうことのないよう若者たちがエシカルについて学ぶ機会を積極的に提供したいと考えました。

そこで、エシカル協会の法人会員の皆様に「足長おじさん」的存在になっていただき、学びたい意欲のある学生たちを応援する企画を立ち上げました。未来そのものである若者たちに講座を受けていただき、変化の担い手になっていただくことで、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている世界を実現することに、より近づけるのではないかと考えています。

エシカル・コンシェルジュ講座9期で、初の試みとなりました学生応援企画。

参加学生は、各回レポートを提出し、最後には数名のグループになり、エシカルな社会を作っていく企画をプレゼンしていただきました。

素晴らしい企画の数々に未来への希望を感じました。プレゼンした企画はその後にも実現に向けて進んでおります！

- ・ 参加対象：学生（申込時、現在の生活状況などを含む学びたい意思をレポート提出）
- ・ 参加費：全11回 無料
- ・ 参加者：25名
- ・ 参加ルール：各回のレポート提出。
最終レポート提出でエシカル・コンシェルジュ修了証発行

<受講生の感想>

- ・ 半年間、学生のサポートから何から何までありがとうございました。エシカルコンシェルジュ講座で得た知識は私の一生の財産となるものでした。
学びたいけれど金銭的な理由で学ぶ機会が得られない。このような理由で実際に学びを諦めている学生を学生の立場から沢山見てきました。
そんな中で手を差し伸べてくださったエシカル協会の皆さま。私も社会的弱者に手を差し伸べられる、そんな大人になりたいと強く思いました。
来年から社会人になります。これからはエシカルコンシェルジュとして社会に貢献、還元していきたいと思っています。

<CASPプログラムについて>

現在、CASPプログラムを使用し、学生企画プロジェクトを支援サポートしております。

このプログラムは自然や動物が大好きで2017年に乳がんのため55歳で亡くなった加茂卓子さんの遺志に基づき創設されました。

CASPとは“Change Agent Support Program”の略で、Change Agentとは“変化の担い手”という意味です。CASPは、自らが変化の担い手となって、世界を変えて行こうとしている方々を応援するプログラムです。

ETHICAL JOURNEY バーチャルツアー

コロナ禍でなかなか自由に旅をすることが少なくなったことで立ち上がったバーチャルツアー、全国にいらっしゃるエシカルな実践者の現場に旅する「エシカル・ジャーニー」。今後も、様々な場所へ皆様をご案内します。

<日程>

- 7/29 vol.1 徳島県上勝町 ゼロウェイストセンター
- 10/10 vol.2 バリ島ウブド マナ・アースリーパラダイス

<実施概要>

- 参加対象：講座受講生（単発一回でも受講した方、非公開Facebookグループ参加者）
- 開催方法：zoomウェビナー（後日、アーカイブ配信あり）
- 参加費：無料
- 参加人数：①63名 ②35名

第1回目は、徳島県上勝町ゼロウェイストセンターの大塚桃奈さんに、センター内をご案内していただきました。

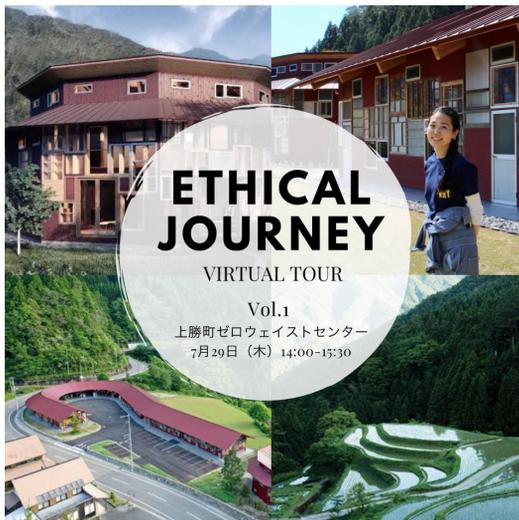
日本の自治体として初の「ゼロ・ウェイスト宣言」で知られる徳島県上勝町に、2020年5月30日（ゴミゼロ）にオープンしたのが「上勝町ゼロ・ウェイストセンター」。

リユース品から建てられた建物、45種類に分別されるゴミステーション、併設の「HOTEL WHY」など、こんなところにも！というくらい環境問題を意識してもらうための仕組みがたくさん！私たちの暮らしにも活かせる多くのヒントを得られました。

第2回目は、東南アジアに位置する世界第4位の人口を抱える国・インドネシア。その中でも、多くの日本人が足を運ぶリゾート地・バリ島。

空港から車で1時間ほどの場所にある田園風景が広がる土地・ウブドに2019年9月、次世代型のエシカルホテルが誕生しました。その名もMana Earthly Paradise。今回は、運営する濱川明日香さんにご案内いただきました。

施設の建築から宿泊客が使う水回りまで、全てのプロセスで現地の社会問題を増長させることなく快適に滞在できるホテル。あたり一面に田んぼが広がる場所に、このエシカルホテルは自然と調和する形で位置しています。



ETHICAL DIALOGUE vol.1

エシカル・コンシェルジュグループ×政治
～ エシカルな世界を目指すためにできること ～

<実施概要>

- 日程：8/22
- 参加対象：講座受講生（単発一回でも受講した方、非公開Facebookグループ参加者）
- 開催方法：zoom（後日アーカイブ配信あり）
- 参加費：無料
- 参加人数：38名

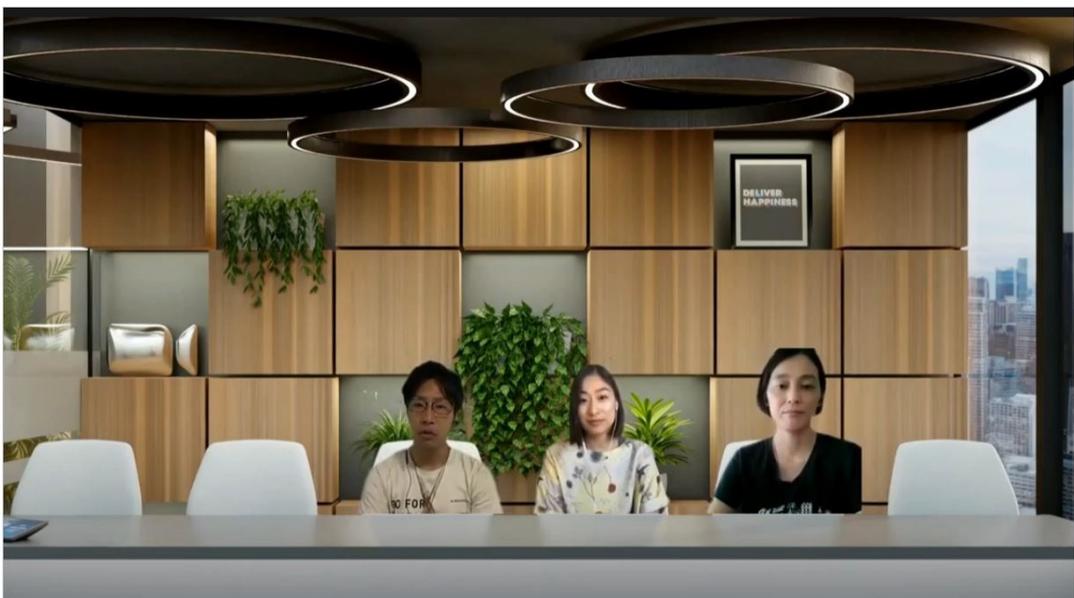
<登壇者>

- 衆議院議員 堀越けいにん議員
- アニマルライツセンター代表の岡田千尋さん
- エシカル協会末吉

衆議院議員の堀越けいにん議員、アニマルライツセンター代表の岡田千尋さんをお招きして、コンシェルジュの皆さんとの対話の時間となりました。

専門家たちとの対話を通じて、コンシェルジュ講座で学んだことをさらにもう一步、実践につなげていく試みです。

私たちの声を社会に伝えていこう！と常日頃話していますが、誰に？どうやって？と疑問を持つ方もいらっしゃると思います。今回は対話を通じて、政治家（地元議員さんなど）とともに社会を変えていくために必要なことやノウハウなどを実例を交えて教えていただきながら、みんなで考えていく時間となりました。



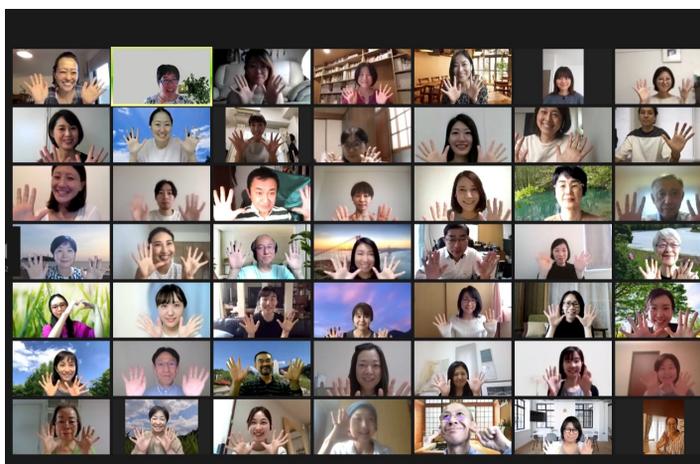
4期合同 大交流会開催

オンラインにしたことで受講生同士の繋がりが減ってしまったことは残念ではありましたが、日本中、世界中から参加できるようになったことで、各地域にエシカル・コンシェルジュの皆さんが誕生することになりました。北海道から沖縄まで日本の22地域と海外フランスから、100名近くの受講生と卒業生が一同に集まり、受講後に抱えた悩みや起こしたアクションについて共有されることで、みんなの不安解消や一歩踏み出す勇気の後押しとなりました。

こんなにもたくさんの方々が、各地でエシカルな暮らしを実践してくれていることを知り、私たちに活動続ける力を与えてくれました。今後も、日本中、世界中に自ら考え行動し、変化を起こす人々を育むことを、私たちエシカル協会は続けていきます。

<実施概要>

- 日程：9/26
- 参加対象：9期の現役受講生と2020秋、2020春、2019秋の卒業生コンシェルジュ
- 開催方法：zoom（後日アーカイブ配信あり）
- 参加費：無料
- 参加人数：96名



2-2. ソーラーシェアリング 「THE 土と太陽の発電所～Soil & Sun～」

エシカル協会のミッション『エシカルの本質について自ら考え、行動し、変化を起こす人々を育み、そうした人々と共に、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている持続可能な世界を実現する』を実現するためにも、2050年カーボンニュートラルを目指すためにも、日本全国で再生可能エネルギーの割合が増えていき、生活者が従来のエネルギーから切り替えていくことが求められていきます。

こうした中、エシカル協会では、2021年6月 千葉県匝瑳市にソーラーシェアリング「THE 土と太陽の発電所～Soil & Sun～」を開設いたしました。

2021年の歩み

6月30日より、発電がはじまりました。



7月12日 発電スタート直後の様子



7月16日 不耕起にて大豆の播種

7月22日 大豆が発芽

8月3日 協会メンバーによる草刈りの実施

8月19日 協会メンバーによる草刈りの実施

12月20日 大豆の収穫（収穫量：201.3Kg）



12月23日 大麦の播種



2022年からは、エシカルコンシェルジュ受講生や一般の方々にもご参加頂ける、イベントや収穫ツアーなどを実施していきます。是非、機会がございましたらご参加ください。

今後のソーラーシェアリング事業についての情報はSNSやメルマガ等にて配信してまいります。

Instagram : THE 土と太陽の発電所 soilandsun_lab

是非、こちらのフォローもよろしくお願いいたします。

2-3. 講演・トークショー・メディア取材

企業・団体

公益社団法人消費者関連専門家会議／NPO法人中野・環境市民の会／一般社団法人日本エシカル推進協議会／株式会社ネイチャーズウェイ／株式会社博展／朝日新聞社／公益社団法人日本環境教育フォーラム／株式会社ワイス・ワイス／京都信用金庫／Indeed Japan株式会社／Veda Tokyo／日本経済新聞／パナソニックホールディングス株式会社／日清食品ホールディングス株式会社／EY新日本有限責任監査法人／日本特殊陶業株式会社／一般社団法人アース・カンパニー／公益社団法人日本ユネスコ協会連盟／かながわ開発教育センター／IDM エシカルなインテリア研究会／BNPパリバ証券株式会社／株式会社ハーモニック／POW Japan／兵庫県弁護士会／UR都市機構／フェアトレードカンパニー株式会社／Cosme Kitchen／消費者ネットしまね／東京ガス株式会社

教育機関

杉並区立和田中学校／竹富町立竹富小中学校／東京都立国際高校講演／早稲田大学／法政大学国際高等学校／横浜市立南高等学校／横浜市立大学／国際基督教大学／東北芸術工科大学／広島市立広島商業高等学校／横浜国際高等学校／自由学園／名古屋大学教育学部附属中学校

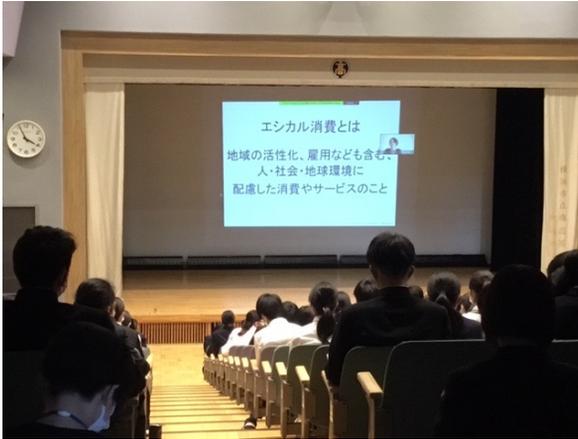
行政

神奈川県鎌倉市／茨城県茨木市／農林水産省／東京都小平市／神戸商工会議所／鹿児島県鹿児島市／大分県大分市／東京都豊島区／東京都豊島区／群馬県／新潟県

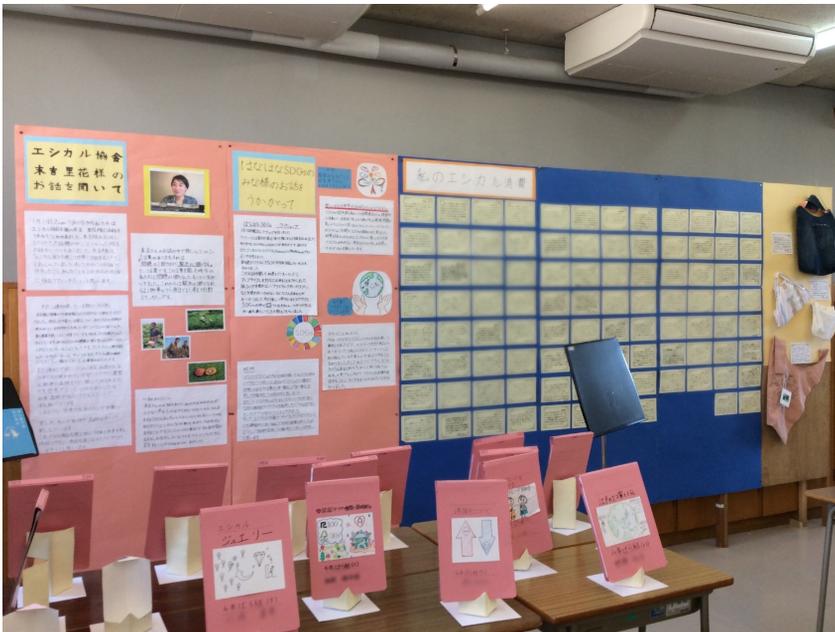
メディア掲載

内閣府 政府広報／花王株式会社／丸井グループ株式会社／株式会社スタジオアーク／株式会社LIXIL／株式会社 小学館／BS-TBS／日本教文社／ダイヤモンド社／婦人之友／株式会社ハリズリー／ポケットカード株式会社／株式会社ブライダル産業新聞社／一般社団法人日本ショッピングセンター協会／Ozmall／Precious／美的GRAND／マイナビ／ニッポン放送／日経ビジネス／日経BP／日経xwoman（エコママ）／オズマガジン／J-WAVE ラジオ／湘南スタイル／GLOBAL EDGE／eumo／BAE／日刊工業新聞社／コクリコ／COMMEARTH／聖心女子大学／SPUR／0円からのエシカル消費／リフォーム産業新聞社

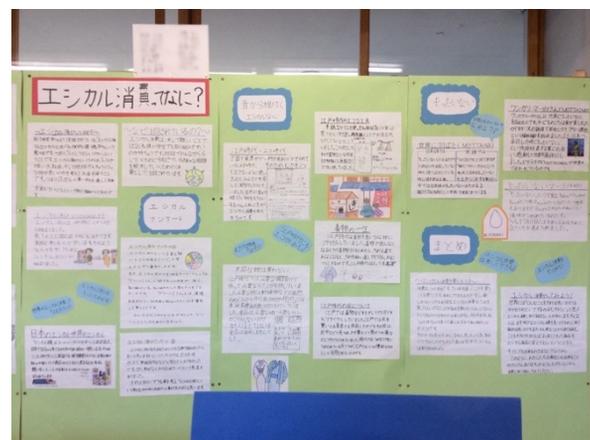
横浜市立南高等学校



聖心女子学院初等科



講演後の生徒発表会



2-4. 行政機関との連携

農林水産省(消費者庁/環境省)

農林水産省では、SDGsゴール12に掲げられた「つくる責任 つかう責任」を踏まえ、2019年11月に「持続可能な生産消費形態のあり方検討会」を立ち上げ、持続的な生産を支える「持続的な消費」のあり方や普及方策について、2020年3月までの間、有識者による検討を行ってきました。代表末吉も検討会の委員を務め、エシカル消費の専門分野から意見を交わしてきました。2020年3月末には検討会を通じて作り上げた「持続可能な生産消費形態のあり方検討会中間取りまとめ」が発表されました。その後、検討会から派生して「あふの環(わ)2030プロジェクト」が立ち上がり、生産者や流通関係者、消費者など多様な立場の人たちが集まるプラットフォームができました。また「サステナアワード」という持続可能な消費と生産に取り組む実践者たちを表彰するアワードが作られ、代表末吉が第一回目に次いで第二回目の審査員を務めました。

(参考) サステナアワード2021公式サイト

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/sa2021.html

環境省

2021年春より、代表末吉は中央環境審議会の循環型社会部会委員に就任いたしました。脱炭素を目指すためにも、循環型社会を目指すことは必須です。

循環型社会部会では、今後の循環施策、特にカーボンニュートラルを踏まえた資源循環分野での対応やサーキュラーエコノミーなども大きなテーマになっています。エシカルの専門家として委員を務め、意見を伝えてきています。

2017年度から、代表末吉は環境省が主催する環境と社会によい活動を応援する「グッドライフアワード」の実行委員を務めており、2021年も審査員として参加をいたしました。

(参考) グッドライフアワード公式サイト

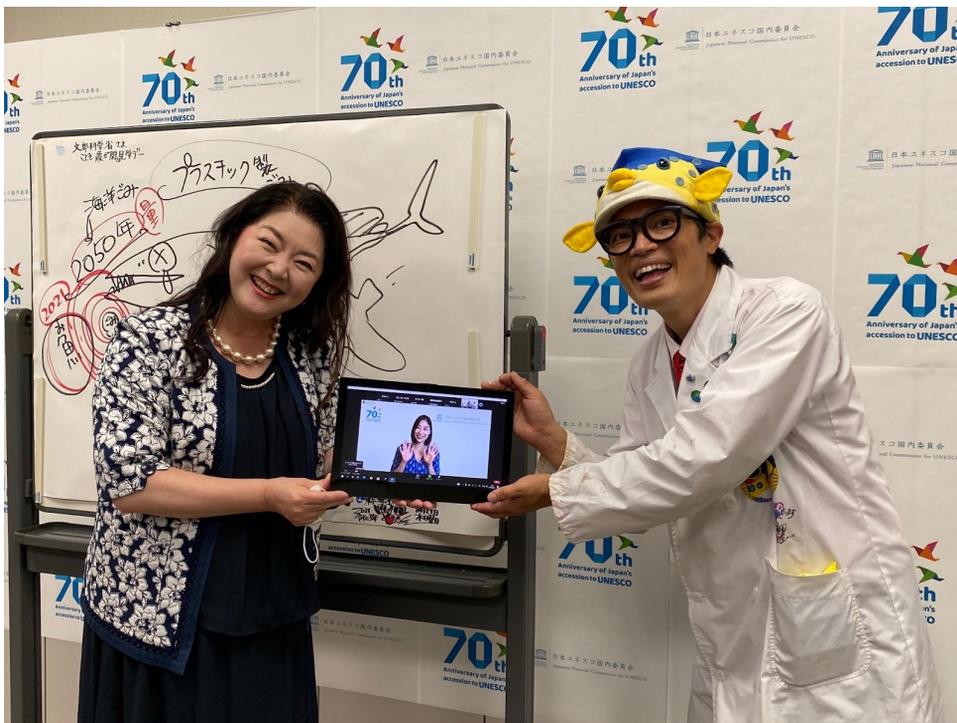
https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/index.html

文部科学省

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、諸国民の教育、科学及び文化の協力と交流を通じた国際平和と人類の共通の福祉の促進を目的とした国連の専門機関です。ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という一文は有名で、まさにエシカルの考えとも親和性が高いと言えます。

代表の末吉は、2018年に日本ユネスコ国内委員会広報大使に任命を受け、ユネスコの目的を実現するために、日本のユネスコ活動の情報発信を行い、普及をしていく活動を行っています。ユネスコスクール訪問やユネスコスクール全国大会登壇などを通じて、未来そのものである子どもたちとともに、エシカルな社会の実現を目指しています。

2021年は、こども霞が関見学デーにおいて「ユネスコトークイベント」を開催され登壇いたしました。2021年は日本がユネスコに加盟して70周年を迎えた年となったので、ユネスコについて、ESDについて理解を深めてもらうためのトークとなりました。共に広報大使を務めるさかなクンと平野啓子さんと、日本全国からオンラインで参加をくださった子どもたちと世界について考える良き時間となりました。



2021年秋には、第13回ユネスコスクール全国大会に登壇いたしました。前述した通り、2021年は日本のユネスコ加盟70周年であり、東日本大震災10周年、ESD for 2030の本格始動の節目の年にあたりました。日本でユネスコ活動が果たしてきた役割とその功績を振り返るとともに、SDGsを念頭に2030年の社会と教育を想定してESDの今後を展望する大会となりました。代表末吉は、自身のユネスコスクール訪問の経験をもとに、エシカルな考え方とESDの親和性などを語り、ユネスコスクールの重要性を訴えました。

2022年に日本ユネスコ広報大使の再就任があり、今後さらに2年間務めることになっています。

消費者庁/徳島県

エシカル消費の推進や実践を行う高校生たちが、日頃の取組みの成果や今後の展望等について発表する「エシカル甲子園2021」の本選が2022年3月18日に行われ、代表末吉が審査委員として参加をいたしました。全国85校の中から選ばれた11校の高校生たちが徳島県に集い、エシカル消費の大切さを全国に向けて広く発信しました。

エシカル甲子園2021

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kyoiku/gakkokoyoiku/5047478/>



東京都

東京都消費生活対策審議会は、都民の消費生活の安定と向上に関する基本的事項、消費生活条例の実施に当たって必要とする基準などの作成、及び基本計画の策定などについて、知事の諮問に応じ調査審議し、答申をするために設けられた知事の附属機関です。代表末吉は、エシカル消費の専門家として、また消費者代表の立場として委員を務めています。東京都の消費生活基本計画の中には、「消費者教育の推進と持続可能な消費の普及」が政策として掲げられており、東京都によるエシカル消費普及のための多様な取組が実施されています。

東京都のエシカル消費サイト

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/manabitai/ethical/>

2-5. 書籍の出版

『エシカル革命』出版

2021年12月に代表末吉が『エシカル革命』（山川出版社）を上梓いたしました。新著では、それぞれがエシカルな暮らしを実践することの大切さに加えて、社会との関わりを持ちながら、社会の仕組みやシステムを変えていくために働きかける「エンゲージド・エシカル」、「行動するエシカル」がとても重要であることを伝えています。また、エシカルな社会を求めていく一方、自分自身を大切にすることも、エシカルに生きる上で大切なことを記しています。

出版を記念して、パンデミック以降初めて、集客をしたイベントを開催いたしました。神田のサステナブルキッチンROSYにて、日頃お世話になっている方々が集まってくださって出版を祝っていただきました。イベントでは弊団体理事である羽生田慶介と代表末吉のトークも行いました。



『エシカル白書2022-2023』刊行！

本書は、これまでエシカルに全く触れてこなかった生活者・企業人から既に実践を重ねている有識者まで、幅広い読者のニーズに応えることを目指しまとめた日本初の『エシカル白書2022-2023』です。2022年5月に刊行し、2021年は本書のために多くの時間を割きました。

巻頭対談にはジャーナリストの国谷裕子さんをゲストに迎え、新型コロナウイルスが明らかにした社会課題、気候変動や人権などの問題、メディアのあり方まで様々なテーマを取り上げ、エシカルな世の中の実現に向けた危機感と希望を語り合いました。本書の前半では、客観的に情報を整理する白書として、サステナビリティが必要とされるようになった社会的背景の解説や国際機関発行のSDGsに係る統計データなどの読み解き、エシカル消費についての認識・意向がわかる調査など幅広い知見を提供しています。後半にかけては、エシカルを取り巻く日本国内外の動向についてまとめ、海外の先進事例の紹介やサステナビリティ関連の著名な識者の論考を通じ、日本のエシカルな取り組みの未来に対する示唆を提供することを試みました。

書店やオンラインでの受注も開始しております。多くの皆様に手に取っていただけることを祈っております。

<オンライン書店>

- Amazon
<https://www.amazon.co.jp/dp/4634152150/>
- 楽天
<https://books.rakuten.co.jp/rb/17113542/>



2-6. 法人会員制度

エシカル協会の法人会員制度は、弊協会の活動に賛同して下さる法人を対象とした会員制度です。会員様からの温かいご支援は、人や地球環境、社会、地域に配慮した生産と消費を実現するエシカルな社会を構築するために、大切に活用させて頂いております。引き続き、私どもの理念や活動にご賛同いただける法人様との出会いを心よりお待ちしております。

協会では、同じ志をもつ「仲間」である会員様との繋がりを非常に大事に考えており、法人会員ミーティングを定期的に開催し、交流を積極的に図っていきます。

法人会員ミーティング

日頃協会の活動を支えてくださっている法人会員の皆さま向けに、協会・他の法人会員様・コンシェルジュなどとのネットワークをより強いものにしていけるような場を提供すべく、四半期に一回の頻度で法人会員ミーティングを実施いたしました。

<第1回：2月4日>

「消費活動影響マップ」のワークショップを開催しました。

農林水産省主催『食と環境を考える1億人会議2020』でも弊協会が講演と本ワークショップを実施したもので、製品がサプライチェーンの中で、環境・人や社会・動物に対してどのような影響をもたらしているか考えるワークショップを実施しました。

<第2回：5月28日>

第2回の法人会員ミーティングでは、「いま押さえるべきエシカルのアジェンダ2021」と題して、カーボンニュートラルやサプライチェーンの人権課題の可視化といったテーマにおける最新動向を協会から情報提供しました。また、「法人会員の皆さまのエシカルな活動の抱負」をご発表いただき、他の法人会員の皆さまがどのような活動を行っているか共有する場を設けました

<第3回：9月10日>

2020年10月に実施して好評いただいたエシカル・コンシェルジュとの座談会を再び開催しました。

「エシカル消費の日常生活への取り入れ方」「コンシェルジュが商品を購入／サービスを利用する際の判断軸」「コロナ影響による消費に対するマインドセットの変化」などのテーマで、エシカル・コンシェルジュに意見を発表いただき、ディスカッションを行いました。

<第4回：12月8日>

法人会員の皆さまから「エシカルに取り組む上で難しいと感じること」をテーマにした発表をしていただき、その上で参加者で解決策についてのディスカッションを行いました。

エシカル協会法人会員様

2022年3月末時点の法人会員様は、31社です。業種も規模も様々ですが、それぞれの強みを生かし、エシカルな世界を築くという共通の目標に向かっていくことを大変心強く思っております。とりわけ、長引くコロナ禍の刻々と変わる状況において、柔軟に試行錯誤を重ねる法人会員の皆様にもますます尊敬の念が深まりました。今年度、ご一緒できた取り組みの一つに、コロナ禍学生応援企画があげられます。学生が経済的理由で学びを諦めてしまうことのないよう、法人会員の皆様に「足長おじさん」的な存在になっていただき、意欲のある学生が無料でエシカル・コンシェルジュ講座を受けられるようにしました。学生の学びたいという気持ちを大切に受け止め、お力添えを賜り、企画が実現できたことに改めて深く感謝申し上げます。今後も、法人会員の皆様と寄り添いながら、共通の目標達成に向けて邁進してまいります。

<法人会員様一覧（順不同・敬称略）>

- ・ 株式会社山櫻
- ・ グロースエクスパートナーズ株式会社
- ・ ラクサス・テクノロジーズ株式会社
- ・ Mazza株式会社
- ・ 株式会社トレードワークス
- ・ ミヤザワ株式会社
- ・ 井関産業株式会社
- ・ 花王株式会社
- ・ 株式会社Borderless Creations
- ・ 株式会社KAWAGUCHI
- ・ 株式会社クラハシ
- ・ 株式会社ビオスタイル
- ・ 株式会社わらわら
- ・ 豊島株式会社
- ・ 東京サラヤ株式会社
- ・ 株式会社Innovation Design
- ・ 日本環境設計株式会社
- ・ 株式会社the continue.
- ・ 特定非営利活動法人 ビューファ
- ・ 株式会社サンダース・ペリー化粧品
- ・ アインズ株式会社
- ・ 株式会社 Future Vision
- ・ 日本自然エネルギー株式会社
- ・ 株式会社サザビーリーグ
- ・ 雪ヶ谷化学工業株式会社
- ・ DXOホールディングス株式会社
- ・ 8thCAL株式会社
- ・ 一般社団法人 ステップボーンカット協会
- ・ BONZA AUSTRALIA PTY.LTD.
- ・ 株式会社トラストリッジ
- ・ 株式会社ニシダ



ウェブサイト : <https://ethicaljapan.org/>

メールアドレス : info@ethicaljapan.org